

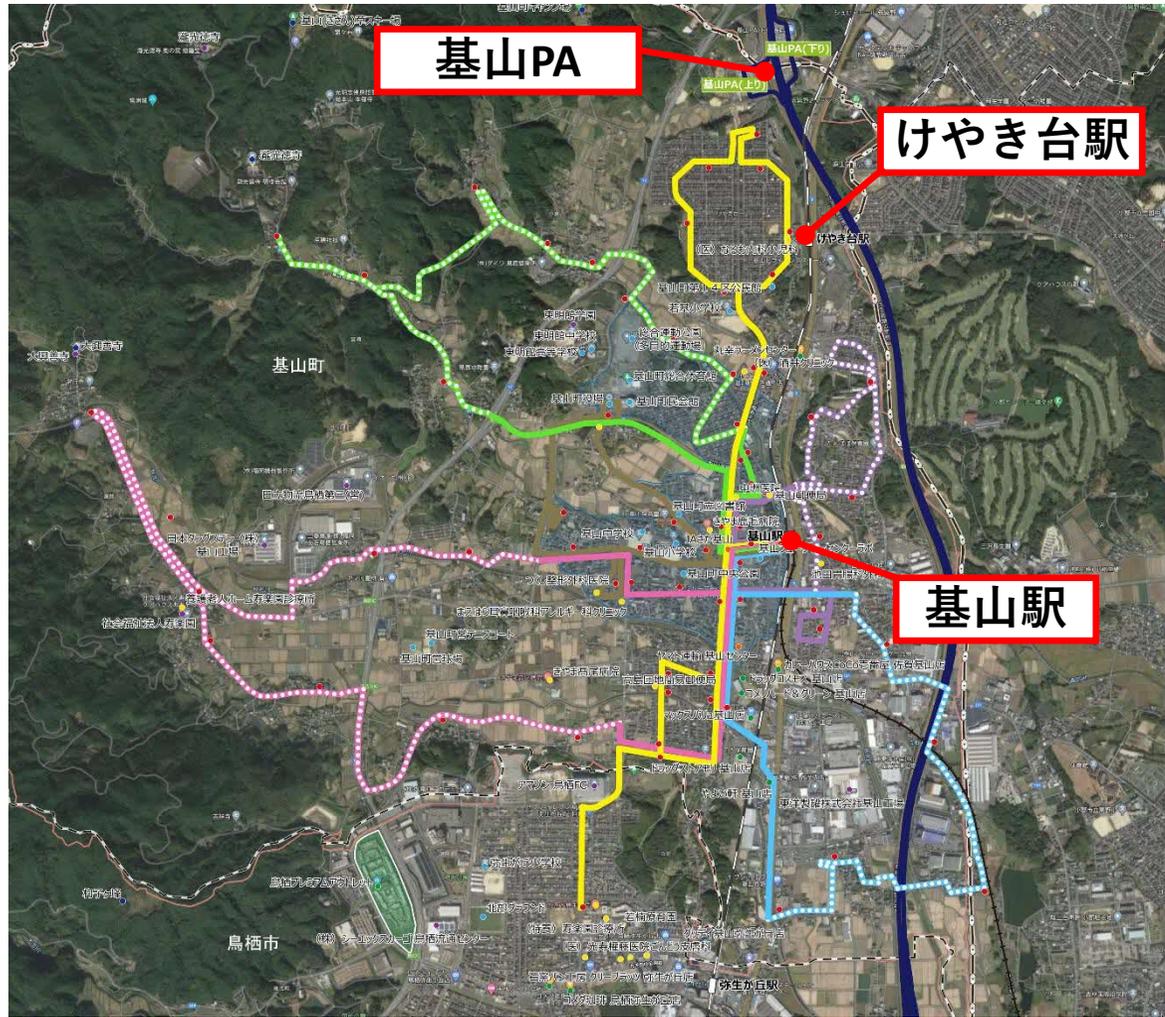


2. 基山町の現状

2. 基山町の特徴

● 「けやき通り」を軸とした都市構造（コンパクトシティ）

- JR線と並行して南北に走る「けやき通り」沿線を中心に市街地や住宅地が形成
- 町内を広域的に運行するコミュニティバスは1時間に1本程度と利便性が低い



【境界】
--- 県境
--- 市町境
□ 中心市街地

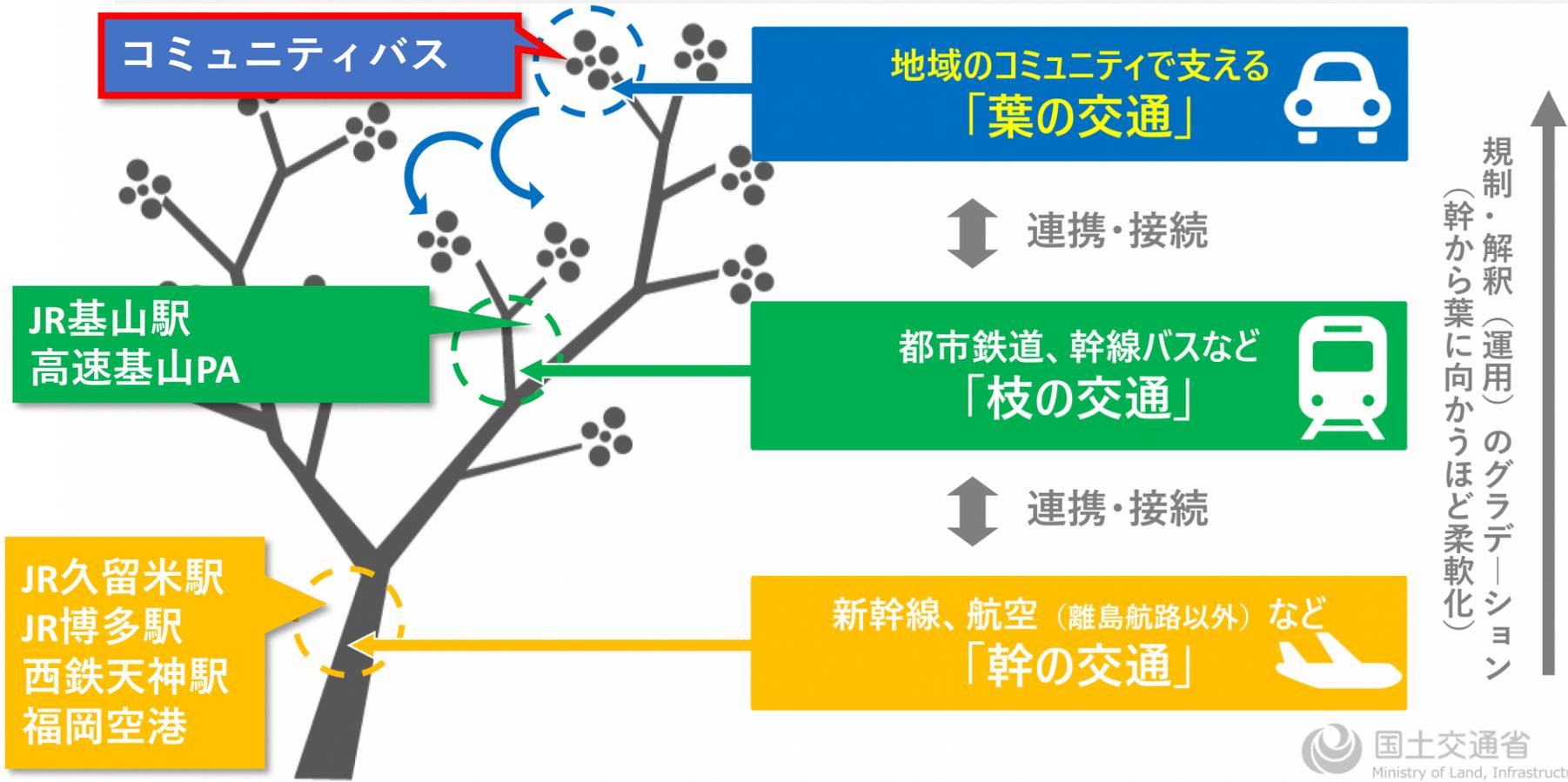
【拠点】
● ①バス停
● ②物流拠点
● ③郵便局・病院
● ④小売店・飲食店
● ⑤公共施設
● ⑥観光・レクリエーション施設
● ⑦バス運行企業

【コミュニティバスルート】
— けやき台・高島線バス停専用区間
— 園部線バス停専用区間
--- 園部線フリー区間
— 宮浦線バス停専用区間
--- 宮浦線フリー区間
— 長野線バス停専用区間
--- 長野線フリー区間
— 本桜線バス停専用区間
--- 本桜線フリー区間
— 中心部巡回線

2. 基山町の特徴

「幹の交通」や「枝の交通」の利便性は高い一方、「葉の交通」は利便性が低い

交通モード別でなく物理的な地域の規模感別に応じた分類により、地域交通のあり方とその主たる担い手を捉え直し、政策のり・デザインを行う。

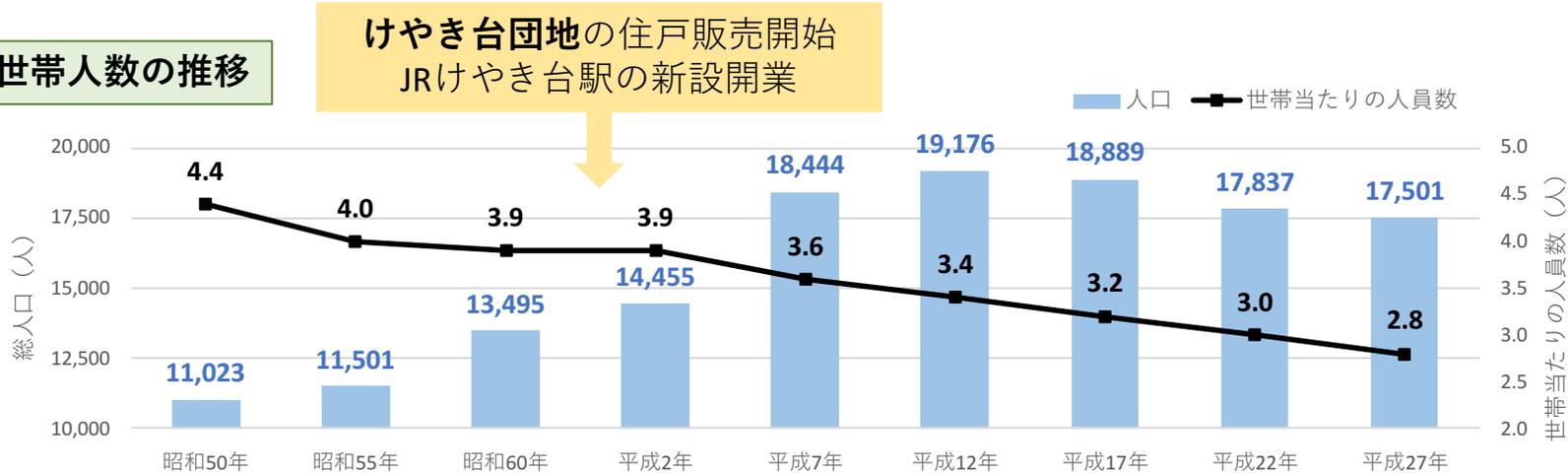


2. 基山町の特徴

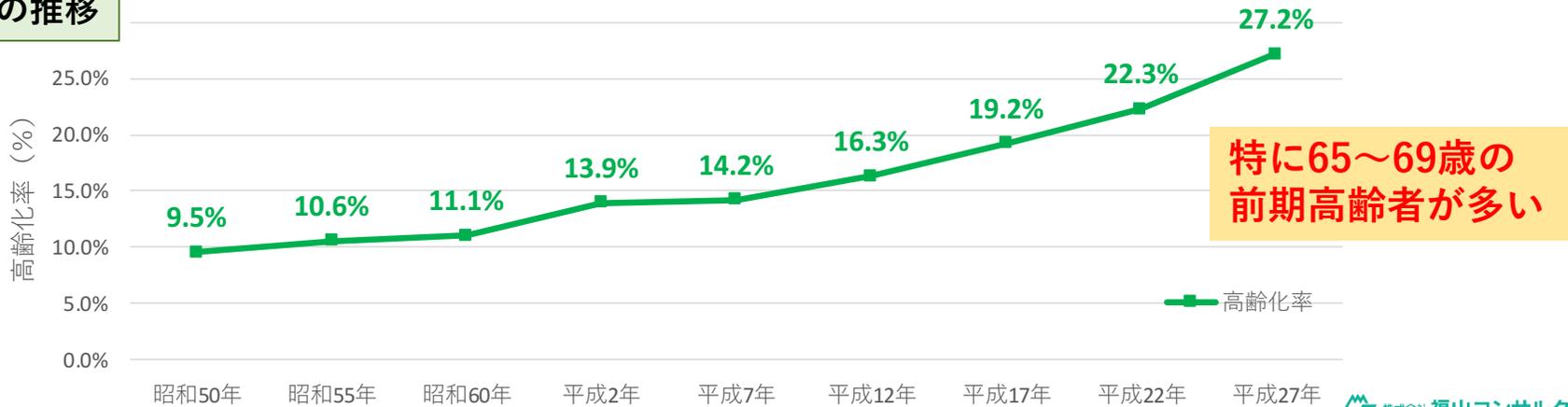
●ベッドタウンとしての発展と近年の人口減少・高齢化の進行

- **ベッドタウン開発**が続き平成12年までは人口が増加するも**近年は減少傾向**
- 町郊外部の開発団地を中心に**少子高齢化が進行**
- 子供世代の流出などにより、親世代のみの**高齢化世帯も増加**

人口と世帯人数の推移



高齢化率の推移



2. 基山町の特徴

●高まる移動弱者の増加

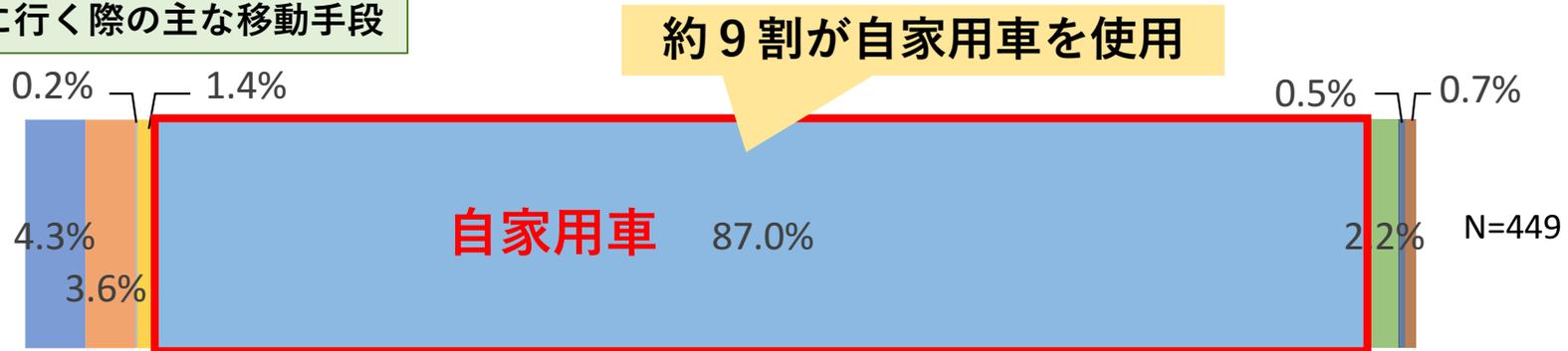
- 日常的な買い物移動は町内店舗利用が多いが、殆どが自家用車を利用
- 高齢化の進行に伴う移動弱者の増加が懸念

平日の主な買い物先



- 基山駅前のスーパー・商店
- 町内のスーパー・ドラッグストア
- コンビニエンスストア
- インターネット等による通販
- その他駅周辺の商店
- 近隣市の大型商業施設
- スーパー等の宅配サービス
- その他

買い物に行く際の主な移動手段



- 徒歩
- 自転車
- コミュニティバス
- 電車
- 自家用車
- バイク
- タクシー
- その他

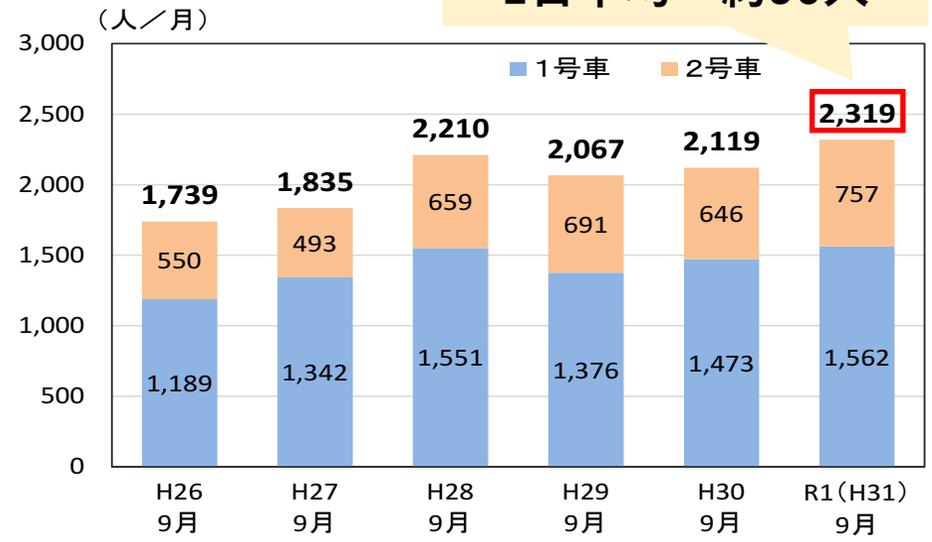
2. 基山町の特徴

●コミュニティバスの運行効率化

- 利用者数は増加傾向であるものの依然として**利用者は少ない**
- 概ね町内全域をカバーしているものの**利用者が多いのは一部のバス停のみ**
- **運賃収入は運行事業費の1割に満たず**、9割以上を国の補助金や町の財源で補填

<コミュニティバス利用者数の推移>

1日平均：約90人



<バス停別の利用者数>

バス停の7割が1日3人未満



<コミュニティバスの費用内訳>

運行費用：2,200万円/年

運賃収入は
運行費用
の1割弱



<運行事業費>
→利用者1人当たり827円
<財政負担>
→利用者1人当たり518円

運賃収入 国庫補助

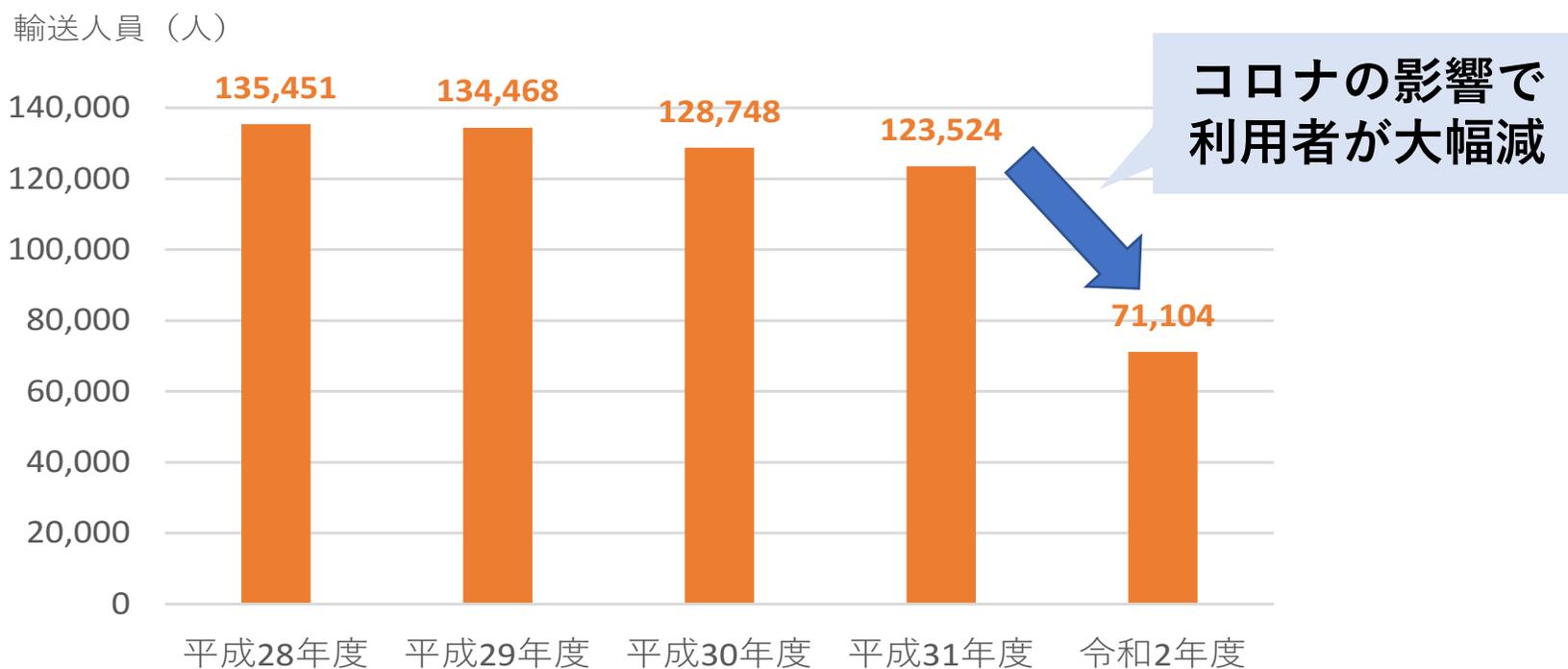
出典：基山町提供データ

2. 基山町の特徴

●タクシー会社の経営危機

- 町内唯一の民間タクシー事業者（有限会社基山タクシー）では、**コロナ禍の煽りを受け利用者数は約4割減少し経営状況が逼迫。**

⇔ **短区間でタクシーのようなサービスを使うのは贅沢・気の毒**
(オンデマンドを利用しなかった理由)



基山タクシーによる輸送人員の推移

出典：有限会社基山タクシー提供資料

2-1. 基山町の特徴

●豊富な輸送資源（企業バス・スクールバス）

- 町内または近隣市に立地する**企業や学校等**が各々で**専用バス**を運行

種別	企業名等
企業バス	Amazon／日立物流／CXカーゴ／東洋新薬／日本タングステン
スクールバス	東明館学園／ブリジストンスイミングスクール
その他	大興善寺／瀧光徳寺／寿楽園



東明館スクールバス



AMAZON企業バス



日本タングステン企業バス

